



「優勝するぞ」と甲子園での活躍を誓う八学
光星ナイン 26日午前、青森市の東奥日報社

光星ナイン「優勝」誓う

本社訪れ意欲 来月1日に 甲子園へ出発

第98回全国高校野球選手権(8月7日開幕)に出場する本県代表の八戸学院光星硬式野球部が26日、青森市の東奥日報社を訪れた。ナインは「優勝するぞ」と声高らかに全国制覇を誓った。

同校は青森大会をノースードから勝ち進み、決勝では大湊に11-0と圧勝。2年ぶり8回目の優勝と、春夏通じ17回目の甲子園出場を決めた。

訪れたのは橋場保人校長や仲井崇基監督、小坂貫志部長、安井基悦前協賛会長と、奥村幸太主将ら選手20人。池田俊介取締役編集局長らと懇談した。

「野球で味わった悔しさは野球でしか晴らせない。選手152人、マネージャー8人の部員計160人が一つにまとまり、成長し、優勝を成し遂げてくれた」と総括した。

チームは「強打の光星」と呼ばれる伝統の打撃に磨きを掛け、青森大会では6試合で23盗塁するなど足技も光った。仲井監督は「自分たちが目指す、そつのない野球に近づいている」と語り、「甲子園でも頑張りたい」と気合を入れた。

春のセンバツに出場した同校は龍谷大平安(京都)に2回戦で敗れている。奥村主将は「春の結果は最低限越えたい。一戦必勝の精神でいく」、主戦の櫻井一樹選手は「初回から全力投球を貫く。どんな打者でも翻弄(ほんろう)したい」などど力強く意気込みを語った。

この日は県庁も訪れ、三村申吾知事に出場を報告した。選手たちは8月1日に同校で開かれる壮行式に臨み、同日中に現地向け出発する。

(松田啓志)

見方は第3社会面に



東奥日報社
奥田 啓
東N動

